

令和6年度 決算報告

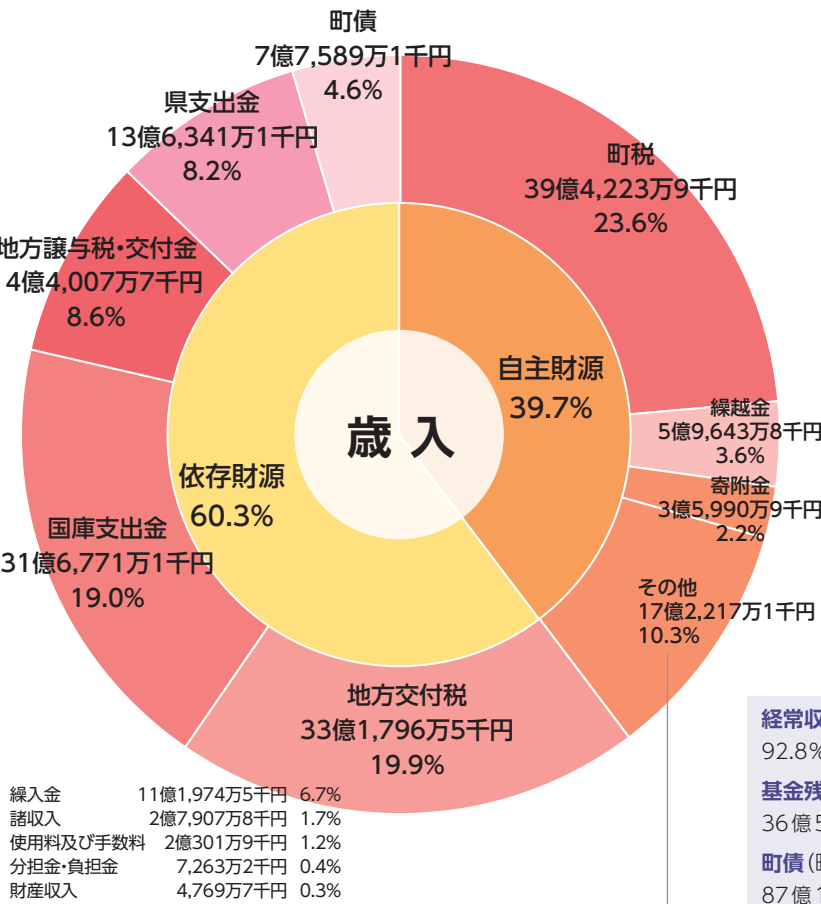
令和6年度の決算が、令和7年9月定例議会で審議され、9月29日(月)の本会議において認定されました。

一般会計歳入歳出決算額は、歳入総額166億8,581万2千円(前年度比10.6%増)、歳出総額159億9,031万円(前年度比10.3%増)となり、形式収支は6億9,550万2千円の黒字となりました。

財政構造の弾力性を表す指標である経常収支比率は、国からの普通交付税が増額となったことなどから前年度から0.3ポイント改善し、92.8%となりました。町の貯金である基金の令和6年度末の現在額は、町道竹ヶ下～桜ヶ丘線道路災害復旧工事の増額などにより1,758万6千円減少し、36億6,911万1千円となりました。町の借金である町債の現在高は、前年度から1億7,523万4千円減少し、87億1,709万7千円となりました。

問 企画財政課 財政係 ☎934-2247

歳入 166億8,581万2千円



経常収支比率	
92.8% (対前年度比 0.3ポイント改善)	
基金残高(町の貯金)	
36億5,152万5千円(対前年度比 1,758万6千円減)	
町債(町の借金)	
87億1,709万7千円(対前年度比 1億7,523万4千円減)	

■特別会計決算額(特定の事業を行うために一般会計と区別して処理する会計)

会計名(事業名)	歳入	歳出	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	38億223万6千円	36億9,566万円	1億657万6千円
後期高齢者医療特別会計	6億3,622万8千円	6億493万円	3,129万8千円

■公営企業会計決算額(自治体でも法律で収益が認められている公営企業の会計)

会計名(事業名)	区分	収入	支出	収支差引額
上水道事業	収益的収支※	8億1,415万1千円	7億3,546万円	7,869万1千円
	資本的収支※	5,108万8千円	2億9,294万7千円	△2億4,185万9千円
流域関連公共下水道事業	収益的収支※	9億9,453万1千円	8億8,118万9千円	1億1,334万2千円
	資本的収支※	5億3,389万6千円	7億1,597万2千円	△1億8,207万6千円

※収益的収支：上下水道料金などの収支 資本的収支：施設建設などの収支 ※端数処理の関係上、歳入歳出(収入支出)の額と差引額が一致しない場合があります。

令和6年度の主な事業

◆総務費

地域コミュニティ支援事業	7,210万8千円
オンデマンドバス(のーと宇美)運行事業	4,880万1千円
プレミアム付き地域商品券発行事業	1,218万5千円

◆民生費

定額減税調整給付金支給事業	3億3,617万5千円
町立保育園運営事業	2億2,112万8千円
低所得世帯支援給付金支給事業	1億2,998万5千円
低所得者支援給付金支給事業	1億2,552万5千円
出産・子育て応援給付金支給事業	2,674万8千円

◆衛生費

ごみ処理事業	5億9,160万9千円
予防接種事業	1億4,060万6千円
上水道事業会計繰出金(3か月基本料金減免分など)	5,611万2千円
母子衛生事業	4,999万4千円

◆労働費・農林水産業費・商工費

働く婦人の家運営事業	2,359万7千円
農業基盤保全事業	1億2,135万8千円
商工業活性化事業	924万8千円

◆土木費

流域関連公共下水道事業会計繰出金	5億2,740万円
道路橋りょう維持管理事業	1億9,963万9千円
原田中央区町営住宅改修事業	1億8,071万7千円
公園管理・整備事業	9,759万3千円

◆消防費

防災気象情報システム改修事業	8,800万円
消防団活動支援事業	7,675万4千円

◆教育費

武道館(空調・トイレなど)整備改修事業	1億9,384万6千円
宇美小学校校舎外壁等整備改修事業	1億6,082万円
就学援助事業	7,329万円
物価高騰対応給付事業(小学校給食費値上分)	1,562万3千円
物価高騰対応給付事業(中学校給食費値上分)	499万9千円

◆災害復旧費

2億3,245万8千円

◆公債費

9億8,219万3千円

健全化判断比率と資金不足比率

財政の健全度を測る4つの指標である健全化判断比率と公営企業の資金不足比率について、算定結果を下記のとおり公表します。令和6年度決算に基づく町の健全化判断比率などはいずれも早期健全化基準(=黄信号)以下の水準を保っています。

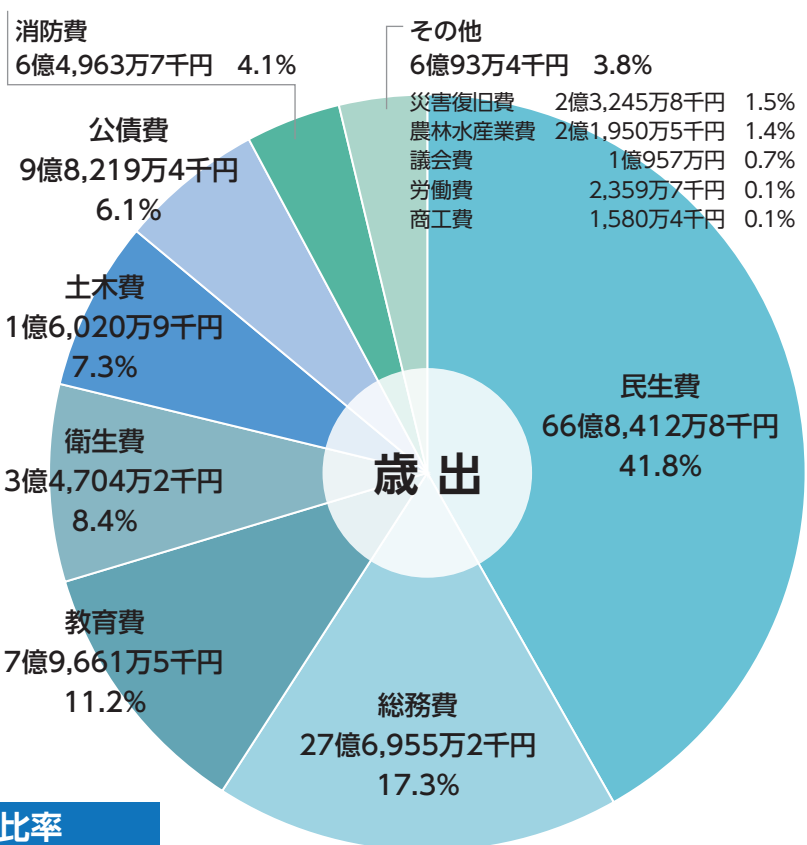
	宇美町	早期健全化基準(黄信号)	財政再生基準(赤信号)
実質赤字比率	-(※1)	13.70%	20.0%
連結実質赤字比率	-(※1)	18.70%	30.0%
実質公債費比率	6.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	-(※2)	350.0%	
資金不足比率	-(※3)	20.0%(経営健全化基準)	

※1 黒字のため「-」と記載しています。
※2 将来負担すべき額より充当可能財源が多かったため「-」と記載しています。
※3 資金の不足がなかったため「-」と記載しています。

前年度比について

前年度との比較において、歳入の増額は、武道館トイレ・空調設備および宇美小学校校舎外壁などの更新工事や、災害に備えて防災情報システムなどの消防施設・設備整備事業を行ったことに伴い、町債が前年度比3億7,129万円増となったこと、また、更新工事の実施に伴い、国庫支出金が前年度比2億6,302万2千円増となったことによるものです。歳出の増額は、定額減税調整給付金および低所得世帯支援給付金や、制度改正に伴い児童手当などの民生費が前年度比5億4,363万5千円増となったほか、教育費が公共施設の更新工事を実施したことに伴い、前年度比2億926万円増額となったことなどによるものです。

歳出 159億9,031万円



▲更新した原田緑道公園の遊具